



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社ハーツユナイテッドグループ 上場取引所 東
 コード番号 3676 URL http://www.heartsunitedgroup.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 CEO (氏名)玉塚 元一
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 CFO (氏名)筑紫 敏矢 (TEL)03(3373)0081
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	8,263	8.8	1,003	14.3	1,008	7.8	674	20.9
29年3月期第2四半期	7,592	2.7	877	10.4	935	17.0	557	107.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 649百万円(22.1%) 29年3月期第2四半期 531百万円(100.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	31.02	29.88
29年3月期第2四半期	24.94	24.37

(注) 当社は、平成28年10月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	8,022	3,191	37.1
29年3月期	7,651	2,858	34.4

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 2,978百万円 29年3月期 2,632百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	11.00	—	6.00	—
30年3月期	—	5.50	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	6.00	11.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成28年10月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成29年3月期第2四半期末の配当金につきましては、当該株式分割前の数値を記載しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,622	14.1	2,200	15.4	2,225	11.4	1,382	73.8	63.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期2Q	23,890,800株	29年3月期	23,890,800株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	2,097,422株	29年3月期	1,943,204株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期2Q	21,740,687株	29年3月期2Q	22,375,396株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成28年10月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)の5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料については、四半期決算短信開示後速やかにTDnet及び当社ホームページに掲載致します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	平成29年3月期 第2四半期 (千円)	平成30年3月期 第2四半期 (千円)	前年同四半期 増減率 (%)
売上高	7,592,519	8,263,166	8.8
営業利益	877,673	1,003,532	14.3
経常利益	935,682	1,008,813	7.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	557,947	674,390	20.9

当社グループを取り巻くデジタル関連市場においては、スマートフォンやタブレット端末の普及によるデバイスの複雑化並びにインターネット環境の飛躍的な進歩により、コンテンツやサービスの多様化が急速に進んでおり、この流れを受け、当社グループの収益機会も増加するものと見込んでおります。

このような状況のもと、当社グループでは、成長機会を着実に捉え、大きな飛躍を遂げるべく、主力事業であるデバッグ事業を中心に、競争優位性のさらなる向上に努めるとともに、今後成長が見込まれる新規市場の開拓に積極的に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間においては、主にデバッグ事業が業績を牽引したことにより、売上高8,263,166千円(前年同四半期比8.8%増)となりました。営業利益は、デバッグ事業における増収効果に加え、クリエイティブ事業の収益性が大幅に改善したことにより、1,003,532千円(前年同四半期比14.3%増)、経常利益は1,008,813千円(前年同四半期比7.8%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、海外子会社であるDIGITAL Hearts (Thailand) Co., Ltd. 及びDIGITAL Hearts Korea Co., Ltd. の撤退に伴う事業整理損等を計上致しましたが、674,390千円(前年同四半期比20.9%増)となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

	平成29年3月期 第2四半期 (千円)	平成30年3月期 第2四半期 (千円)	前年同四半期 増減率 (%)
売上高	7,592,519	8,263,166	8.8
デバッグ事業	6,003,336	6,944,536	15.7
メディア事業	269,550	271,862	0.9
クリエイティブ事業	635,645	739,815	16.4
その他	708,628	427,813	△39.6
調整額	△24,640	△120,861	-
営業利益又は営業損失	877,673	1,003,532	14.3
デバッグ事業	1,361,379	1,594,638	17.1
メディア事業	△17,574	△80,395	-
クリエイティブ事業	△154,976	81,998	-
その他	31,564	△38,083	-
調整額	△342,718	△554,625	-

なお、各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しており、セグメント利益又は損失は営業利益ベースとなっております。

① デバッグ事業

当セグメントにおいては、顧客企業が求める不具合のない高品質な製品開発に貢献すべく、製品の品質保持及び品質向上に必要な不可欠な最終チェックを行うデバッグ工程のアウトソーシングサービスを提供しております。

デバッグ事業におけるリレーション別の売上高は以下のとおりであります。

	平成29年3月期 第2四半期 (千円)	平成30年3月期 第2四半期 (千円)	前年同四半期 増減率 (%)
コンシューマゲームリレーション	1,695,404	2,056,318	21.3
デジタルソリューションリレーション	3,344,701	3,840,600	14.8
アミューズメントリレーション	963,230	1,047,617	8.8
デバッグ事業 合計	6,003,336	6,944,536	15.7

(i) コンシューマゲームリレーション

主に、コンシューマゲームソフト向けのデバッグサービスを提供している当該リレーションの関連市場であるコンシューマゲーム市場では、引き続きPlayStation® 4に向けた有力タイトルの発売が予定されるとともに、平成29年3月に発売された新型ハードであるNintendo Switch™に向けたタイトルの開発が活発化するなど、今後の市場のさらなる盛り上がりが見込まれています。

当第2四半期連結累計期間においては、PlayStation® 4向けの大型タイトル案件が高稼働で推移するとともに、提案型の営業活動が奏功し、下期以降に発売が予定されている新規タイトル案件の受注拡大を実現致しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間のデバッグ事業のうちコンシューマゲームリレーションの売上高は2,056,318千円(前年同四半期比21.3%増)と大幅に伸長致しました。

(ii) デジタルソリューションリレーション

主に、モバイルコンテンツ向けのデバッグサービスを提供している当該リレーションの関連市場であるモバイルゲーム市場では、ユーザー獲得に向けた競争が一層激化しており、大手メーカーによる人気キャラクターを活用した新しいゲーム開発が進むとともに、リリース後の運営フェーズにおいても、人気タイトル同士のコラボレーションやゲーム内容の刷新等、ユーザーを中長期的に魅了するための大規模なアップデートに係る開発が継続的に発生していることから、開発フェーズ、運営フェーズともにデバッグ需要が拡大しております。

このような状況のもと、当社グループでは、引き続きテスト人員の採用・育成に注力することで、受注体制を強化するとともに、サービス品質の向上・改善に継続的に取り組むことで、増加するデバッグ需要を確実に受注へとつなげて参りました。

また、業務システムやECサイト等を対象としたシステムテスト分野においては、グループ連携を強化し、提案力の向上及び積極的な営業活動に注力することで、IoT関連ソフトウェアをはじめとする検証案件を獲得するとともに、HEROZ株式会社と資本業務提携を締結し、人工知能を活用した新サービスの研究・開発を実施することで、さらなる成長に向けた取り組みを推進して参りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のデバッグ事業のうちデジタルソリューションリレーションの売上高は、3,840,600千円(前年同四半期比14.8%増)となり、引き続き力強い成長を継続致しました。

(iii) アミューズメントリレーション

主に、パチンコ及びパチスロ向けのデバッグサービスを提供している当該リレーションの関連市場である遊技機市場では、ギャンブル依存症対策の実施や射幸性の抑制を目的とした規制強化等、遊技機産業の更なる健全化に向け業界を取り巻く環境が大きく変化しており、これに伴い、顧客企業における開発スケジュールも依然として流動的な状態が継続しております。

当第2四半期連結累計期間においては、平成30年2月に「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則」及び「遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則」の一部が改正されることに伴い、顧客企業において、規制強化前に型式試験を適合させることを目的に、新台の開発が重なったことにより、デバッグ需要も増加致しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間のデバッグ事業のうちアミューズメントリレーションの売上高は1,047,617千円(前年同四半期比8.8%増)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のデバッグ事業の売上高は、全リレーションで増収を達成したことにより、6,944,536千円(前年同四半期比15.7%増)、セグメント利益は1,594,638千円(前年同四半期比17.1%増)となりました。

② メディア事業

当セグメントにおいては、日本最大級の総合ゲーム情報サイト「4Gamer.net」等の運営やゲーム関連イベントの企画・運営を通じ、ゲームメーカーをはじめとする顧客企業のプロモーション活動を支援しております。

当第2四半期連結累計期間においては、独自取材による付加価値の高い情報のスピーディな配信に努めることで、メディアとしての価値の向上に努めて参りました。

また、平成30年1月に開催を予定している、世界最大級の格闘ゲーム大会「Evolution Championship Series」の日本大会(「EVO Japan」)に向け、平成29年5月にテスト大会を開催し、運営ノウハウを蓄積するとともに、競技タイトルの選定やプロモーション活動の実施等、開催に向けた準備を進めて参りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のメディア事業の売上高は271,862千円(前年同四半期比0.9%増)、EVO Japan開催に係る先行投資の実施により、セグメント損失は△80,395千円となりました。

③ クリエイティブ事業

当セグメントでは、ゲーム開発やCG映像制作等、コンテンツ制作におけるクリエイティブ領域全般にわたる制作サポートサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間では、これまで培ってきた技術力・ノウハウを強みに積極的な営業活動を展開し、新規案件の獲得に注力するとともに、厳格なプロジェクト管理を徹底することで、安定的な利益を確保致しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間のクリエイティブ事業の売上高は739,815千円(前年同四半期比16.4%増)、セグメント利益は81,998千円となりました。

④ その他

その他の事業では、コンテンツプログラムから基幹システムまで幅広い開発を行う「システム開発事業」等を展開しております。

当第2四半期連結累計期間では、ITサポート分野やシステムテスト分野における成長を加速させることを目的に、デバッグ事業を行う株式会社デジタルハーツとシステム開発事業を行う株式会社ネットワーク二一の子会社間合併を決定し、平成29年9月には、株式会社デジタルハーツの本社所在地に、株式会社ネットワーク二一のオフィスを集約するなど、合併に向けた準備を進めるとともに、今後の事業成長に向けたサービスの選択と集中を実施致しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間のその他の事業の売上高は427,813千円(前年同四半期比39.6%減)、セグメント損失は△38,083千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産の残高は6,297,143千円となり、前連結会計年度末における流動資産6,221,222千円に対し、75,920千円の増加(前期比1.2%増)となりました。

これは、主として現金及び預金が361,939千円増加したことによるものであります。

固定資産の残高は1,725,818千円となり、前連結会計年度末における固定資産1,430,380千円に対し、295,437千円の増加(前期比20.7%増)となりました。

これは、主として、有形固定資産が129,582千円増加したことによるものであります。

(負債)

流動負債の残高は3,801,254千円となり、前連結会計年度末における流動負債3,759,464千円に対し、41,789千円の増加(前期比1.1%増)となりました。

固定負債の残高は1,030,580千円となり、前連結会計年度末における固定負債1,033,638千円に対し、3,058千円の減少(前期比0.3%減)となりました。

(純資産)

純資産の残高は3,191,127千円となり、前連結会計年度末における純資産2,858,499千円に対し、332,627千円の増加(前期比11.6%増)となりました。

これは、主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が674,390千円増加した一方で、自己株式を取得したことにより純資産が347,083千円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、3,706,628千円となり、前連結会計年度末における資金3,344,688千円に対し、361,939千円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローとそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は858,181千円(前年同四半期は932,664千円の収入)となりました。

これは、主として税金等調整前四半期純利益985,567千円及び法人税等の還付額290,979千円等の資金増加項目が、法人税等の支払額348,848千円等の資金減少項目を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は332,326千円(前年同四半期は413,705千円の支出)となりました。

これは、主として敷金及び保証金の差入による支出184,331千円及び投資有価証券の取得による支出108,734千円等の資金減少項目によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は152,831千円(前年同四半期は1,080,008千円の収入)となりました。

これは、主として配当金の支払額132,787千円等の資金減少項目によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、概ね計画どおり推移しており、現時点において平成29年5月12日付で「平成29年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表しました業績予想からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,344,688	3,706,628
受取手形及び売掛金	1,942,047	2,181,232
たな卸資産	8,263	11,269
その他	932,112	407,656
貸倒引当金	△5,889	△9,643
流動資産合計	6,221,222	6,297,143
固定資産		
有形固定資産	298,100	427,683
無形固定資産		
のれん	201,300	163,556
その他	37,448	40,874
無形固定資産合計	238,748	204,431
投資その他の資産		
その他	896,104	1,093,977
貸倒引当金	△2,573	△274
投資その他の資産合計	893,530	1,093,703
固定資産合計	1,430,380	1,725,818
資産合計	7,651,602	8,022,961
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,630,840	1,600,000
未払費用	779,123	956,491
未払法人税等	686,718	365,271
賞与引当金	62,733	72,643
受注損失引当金	400	-
その他	599,649	806,847
流動負債合計	3,759,464	3,801,254
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,017,200	1,017,200
長期借入金	2,620	-
その他	13,818	13,380
固定負債合計	1,033,638	1,030,580
負債合計	4,793,103	4,831,834

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,686	300,686
資本剰余金	277,510	332,610
利益剰余金	4,164,899	4,706,808
自己株式	△2,152,531	△2,405,036
株主資本合計	2,590,564	2,935,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,557	3,108
為替換算調整勘定	36,685	40,169
その他の包括利益累計額合計	42,242	43,277
非支配株主持分	225,691	212,779
純資産合計	2,858,499	3,191,127
負債純資産合計	7,651,602	8,022,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	7,592,519	8,263,166
売上原価	5,430,668	5,784,605
売上総利益	2,161,850	2,478,561
販売費及び一般管理費	1,284,177	1,475,029
営業利益	877,673	1,003,532
営業外収益		
受取利息	320	400
投資事業組合運用益	-	5,952
助成金収入	50,141	5,462
その他	23,313	4,996
営業外収益合計	73,774	16,812
営業外費用		
支払利息	2,052	1,475
持分法による投資損失	1,474	1,655
為替差損	2,099	597
自己株式取得費用	-	6,092
社債発行費	1,801	-
その他	8,337	1,710
営業外費用合計	15,765	11,531
経常利益	935,682	1,008,813
特別利益		
固定資産売却益	3,271	2,112
特別利益合計	3,271	2,112
特別損失		
固定資産売却損	175	-
事業整理損	-	25,358
特別損失合計	175	25,358
税金等調整前四半期純利益	938,778	985,567
法人税、住民税及び事業税	365,276	342,815
法人税等調整額	14,991	△4,774
法人税等合計	380,267	338,040
四半期純利益	558,510	647,526
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	563	△26,863
親会社株主に帰属する四半期純利益	557,947	674,390

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	558,510	647,526
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,255	△2,448
為替換算調整勘定	△24,788	4,103
その他の包括利益合計	△27,043	1,655
四半期包括利益	531,467	649,181
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	530,870	675,425
非支配株主に係る四半期包括利益	596	△26,243

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	938,778	985,567
減価償却費	50,257	108,273
のれん償却額	51,383	37,743
貸倒引当金の増減額(△は減少)	15,224	4,017
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,215	9,910
受取利息及び受取配当金	△320	△400
事業整理損	—	25,358
株式報酬費用	—	37,199
支払利息	2,052	1,475
為替差損益(△は益)	△738	△2,326
持分法による投資損益(△は益)	1,474	1,655
投資事業組合運用損益(△は益)	1,039	△5,952
固定資産売却損益(△は益)	△3,096	△2,112
売上債権の増減額(△は増加)	145,775	△238,950
たな卸資産の増減額(△は増加)	9,244	△3,005
未払金の増減額(△は減少)	△87,777	25,706
未払費用の増減額(△は減少)	20,566	177,437
未払消費税等の増減額(△は減少)	△27,072	△33,447
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△29,620	△26,008
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△129,337	△191,520
その他	△25,287	17,032
小計	930,330	927,652
利息及び配当金の受取額	381	397
利息の支払額	△2,013	△1,475
法人税等の支払額	△411,789	△348,848
法人税等の還付額	415,754	290,979
事業整理損の支払額	—	△10,523
営業活動によるキャッシュ・フロー	932,664	858,181
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△51,079	△75,963
有形固定資産の売却による収入	4,070	2,112
無形固定資産の取得による支出	△38,064	△10,706
投資有価証券の取得による支出	△49,794	△108,734
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△200,136	—
投資事業組合からの分配による収入	6,537	7,800
敷金及び保証金の差入による支出	△101,462	△184,331
敷金及び保証金の回収による収入	6,742	37,462
その他	9,481	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△413,705	△332,326

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,700,000	1,000,000
短期借入金の返済による支出	△1,384,144	△1,000,000
長期借入金の返済による支出	△13,000	△33,460
社債の発行による収入	1,015,398	—
非支配持分の出資による収入	45,000	45,000
配当金の支払額	△101,073	△132,787
非支配株主への配当金の支払額	△20,034	△20,034
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△155,945	△10,389
リース債務の返済による支出	△6,193	△1,160
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,080,008	△152,831
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,753	△11,083
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,587,213	361,939
現金及び現金同等物の期首残高	2,197,856	3,344,688
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,785,069	3,706,628

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成29年2月17日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、実施致しました。この取得により自己株式は、347,083千円増加しております。また、平成29年7月21日開催の取締役会において、当社の取締役に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式を82,482株処分を行うことを決議し、実施致しました。自己株式が94,579千円減少し、資本剰余金が54,218千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の残高は、資本剰余金332,610千円、自己株式2,405,036千円となっております。

(重要な後発事象)

共通支配下の取引等

(連結子会社間の合併)

当社は、平成29年8月18日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社デジタルハーツ及び株式会社ネットワーク二の2社間による合併を行うことを決議し、平成29年10月1日に合併を実施致しました。

(1) 取引の概要

①結合当事企業の名称及びその事業の内容

(i) 結合企業

名称	株式会社デジタルハーツ (当社の100%子会社)
事業の内容	総合デバッグサービスの提供等

(ii) 被結合企業

名称	株式会社ネットワーク二 (当社の100%子会社)
事業の内容	システム開発等

②企業結合日

平成29年10月1日

③企業結合の法的形式

株式会社デジタルハーツを存続会社、株式会社ネットワーク二を消滅会社とする吸収合併

④結合後企業の名称

株式会社デジタルハーツ

⑤その他取引の概要に関する事項

両子会社の経営資源を統合して経営の効率化を図り、顧客満足度と収益性を向上させることを目的としております。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。